

| 子どもの声・姿・意識 (総合的な学習の時間→総合) | 活動の展開 | 教師の関わり(手立て) | 単元の評価規準 ○知識・理解 ◎思考・判断・表現 ●主体的に学習に取り組む態度 <キャリア・未来デザイン教育の視点> [探究的な学びの視点] |
|--|---|--|---|
| 「1年間を通して扱う材を決め、材について詳しく知る」(10) | | | |
| | ○昨年度の総合や桜町フェスティバルの振り返りをする。(2) | ・「なにに取り組んだか」「どんな力が身に付いたか」「今年どんな力を身に付けたいか」の観点を示す。 | |
| <p>【昨年度の振り返りでの児童の声】</p> <p>(身に付いた力) ・やったことをもっとよくしようと次につなげられた! ・やったことを順序だてて説明することができた! ・気になることをたくさん調べようとすることができた! ・みんなで分担して取り組むことができた! ・材料やその分量をいろいろ試しながら作ることができた! ・どうすればもっと美味しいくなるか(分かりやすくなるか)を考えて取り組めた! お互いに支えながら協力することができた! ・(工程表を作って)やることを分かりやすくまとめられた! など</p> <p>(身に付けたい力) ・もっと分かりやすく周りに伝える力を身に付けたい! ・楽しく協力して取り組みたい! ・地域の人たちとたくさん関わりたい! ・自分たちの力で取り組みたい! ・色々なことに挑戦したい! など</p> | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・おにぎりの種類がたくさんある! ・どうやらきれいな三角のおにぎりができるのだろう? ・どうしてこんなに値段が高いのだろう? 社会の学習で分かるかもしれない! ・なぜ日本は米を大切にしているのだろう? ・わら細工に挑戦したい! ・地域に「三田精米店」があるから関われそう! ・米を育てるところからやりたい! ・苗小屋を作つて苗を育てたい! ・職人さんはどんな技術をもっているのか知りたい! ・米のよさをみんなに伝えたい! | <ul style="list-style-type: none"> ○追究していく材(米)について思いを膨らませる。種類や歴史などを調べていく中で、どんな工夫ができそうかと考える。(2) ○クラスでどのように取り組んでいけそうか考えつつ、おにぎりの作り方を調べて、まずはスタンダードな塩むすびを握つてみる。(4) ○今年度は米と関連付けてどんな活動ができるか考える。(2) | <ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの意見を聞くために、ロイロノートを活用してアイデアを出し合うようにする。 ・他教科との結び付きが可能かどうか、児童が考えられるよう、全教科の教科書を参考にするよう声を掛ける。 ・農家、米屋との関わりをもった活動を想起するよう促す。 ・学習の広がりを考えるために、ウェビングマップで材について関係のあることを書き出していく。 ・相手意識につながるように「どんな人に食べてもらいたい?」と聞く。 | <p>[1:課題を見出し、把握している] <③課題対応能力> <④キャリアプランニング能力></p> <p>○おにぎりには様々な種類や歴史があり、おいしさを追究した結果生まれた日本の誇れる食文化であることを理解している。 <②自己理解・自己管理能力></p> |
| 「自分の追究したいテーマを調べたり試したりしながら繰り返し挑戦する。課題と向き合い、上手くなる」(15) | | | |
| <p>一学期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・味は塩の分量で変わるかも! ・塩や水の量で味や食感が変化しそう! ・三角形に整えるのが難しそう! ・手に米がくつきそう…。きれいに見えるように練習する。 ・大きさが均一にならないから食感に差が出そう…。 ・本などを参考にデザインを考えてみたい! インターネットにもたくさん載っている! ・なにかをモチーフにしたおにぎりやわら細工はできないかなあ? ・思ったような形にならなくて、崩れてしまう…。 ・繰り返し練習していると慣れてきた! ・本物のおにぎり屋さんのおにぎりを食べてみたい! ・職人さんにコツを聞いてみたい! 自分たちのおにぎりがよいかどうか、感想を聞きたい! ・(炊飯器や鍋で作ったものと比較するために)釜で米を炊いてみたい! ・川場でやつたようにかまどを作つて火おこしをしたい! ・学校に水田を作りたい! ・収穫や栽培をしてみたい! | <ul style="list-style-type: none"> ○テーマを決める。(1) ○米でどのように探究するかクラスで考える。(2) ⇒やりたいことを一つに絞り、やり方を工夫する。様々なやりたいことを各グループに分かれてプロジェクト型で探究する。など ○上記を実現するために必要なことを調べる(2) <p>・綺麗な三角形のおにぎり作り・米を炊く・米の栽培・苗を育てる小屋作り・おにぎりの具材を考える・必要な物品(予算)を考える・米のよさや大切さを伝える活動をする・活動を宣伝する・外部とどうつながっていくか考える・稻わらを使った作品作り・活動全体をまとめる など</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・テーマを考えるにあたり、1年間の見通しをもてるように米についてやってみたいこと、挑戦したいこと、ワクワクすることなどを聞く。 ・作るにあたり、様々な情報を整理するために、出し合った情報から何を重視するか(手軽さなど)考えるよう促す。 ・児童が自身の成長を感じられるように、写真等で記録を取つておく。 ・稻作、米に関する本や情報など、教室掲示等を活用し児童がいつでも米について考えられるような学習環境を整える。 <p>・プロに話を聞く機会は、児童が課題をもつた時や困り感のあるタイミングにする。</p> | <p>○米に対して目的をもって行うことから、課題を作り、解決に向けて自分にできることを考えている。</p> <p>○おにぎりづくりや稻作、米の魅力発信を目指して必要な情報を、手段を選択して収集している。</p> <p>[1:課題を見出し、把握している] [2:課題解決の方法を考えている] [3:協働して学んでいる] <①人間関係形成・社会形成能力></p> <p>●自己の取組を振り返ることを通して、よりおいしいおにぎりを作ろうと探究活動に進んで取り組もうとしている。</p> <p>○おにぎりづくりや稻作、米の魅力発信を目指して収集した情報を、取捨選択したり、複数の情報や考えを比較したり、関連付けたり焦点化したりしながら、解決に向けて考えている。</p> <p>[4:学びを振り返り、次につなげている] <①人間関係形成・社会形成能力> <③課題対応能力> <②自己理解・自己管理能力> <④キャリアプランニング能力></p> |

| | | | | | | | |
|--|---|---|---|--|--|--|---|
| | | <h2 style="text-align: center;">「米に関する探究活動を振り返り、他教科へ関連付けて広げる」(17)</h2> | | | | | |
| 二学 期 | <ul style="list-style-type: none"> ・様々なおにぎりを試したい！ ・おにぎりの種類を一つに絞って探究したい！ ・もっとおいしくするためには何を工夫すればよい？ ・見た目も大切だ！器が必要？ ・お茶も淹れたらもっとおいしくなるかな？ ・おにぎりを食べているとお茶を飲みたくなる。家庭科を生かして、お茶を入れたい！ ・いろんな人に見てもらいたい、食べてもらいたいな！ ・職人さんに作ったおにぎりを見てもらいたい！ ・職人さんはどんな思いで作っているんだろう？ ・職人さんになるまでにどのくらい修行しているんだろう？ ・うまく稻が育たない…どうしよう？ ・自分たちで育てた米でおにぎりを作りたい！ ・外国籍の方に日本文化の素敵さを知ってもらいたいな！ ・テレビで見る和の紹介には日本の音楽が流れている。自分たちで作りたい！ | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px; text-align: center;"> 夏休み 各家庭でおにぎりづくり (繰り返し・扱えなかった具材など) </td> <td style="padding: 5px; width: 60%;"> <ul style="list-style-type: none"> ○自分たちの活動の何を紹介したいかアイデアを出し合う。(2) ○出したアイデアを絞る。またはアイデアごとにグループを作り、探究する。(5) ○どんな人に食べてもらいたいかなど、相手意識をもっておにぎりづくりや稻わら作品の内容を再考する。(6) ○おにぎり屋さん(三田精米店・JAなど)はどのようなことを考えて作っているのか、相手意識をもって作っている人の話を聞く。(4) </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="padding: 5px; text-align: center;"> 各教科での学習との結びつき 国語:目的に応じて引用する 家庭科:食材の扱い・料理の基本 算数:単位量あたりの計算 書写:招待状・案内表示 理科:植物の生長 外国語:日本文化の伝達 社会:国土の気候・稻作 図工:デザイン など </td> </tr> </table> | 夏休み 各家庭でおにぎりづくり (繰り返し・扱えなかった具材など) | <ul style="list-style-type: none"> ○自分たちの活動の何を紹介したいかアイデアを出し合う。(2) ○出したアイデアを絞る。またはアイデアごとにグループを作り、探究する。(5) ○どんな人に食べてもらいたいかなど、相手意識をもっておにぎりづくりや稻わら作品の内容を再考する。(6) ○おにぎり屋さん(三田精米店・JAなど)はどのようなことを考えて作っているのか、相手意識をもって作っている人の話を聞く。(4) | 各教科での学習との結びつき 国語:目的に応じて引用する 家庭科:食材の扱い・料理の基本 算数:単位量あたりの計算 書写:招待状・案内表示 理科:植物の生長 外国語:日本文化の伝達 社会:国土の気候・稻作 図工:デザイン など | | <ul style="list-style-type: none"> ・今までの学習を生かせるように、学習の軌跡を残しておき、振り返りしやすいようにする。 ・意見が反映されやすいように小グループでの活動を促す。 ・1学期のおにぎりづくりから同様の準備手順を示し、効率よく素早く準備できるよう環境を整える。 ・安全管理を徹底して行う。児童もその意識を強く持つよう促す。 ・おにぎり屋さんに意図を説明し、講話の場を設ける。 ・他教科(専科等)とのカリキュラムマネジメントを行う。 <p>[1:課題を見出し、把握している] ◎おにぎりづくりや稻作を、目的をもって行うことから課題を作り、解決に向けて自分にできることを考えている。 ◎おにぎりづくりや米の魅力発信を目指して必要な情報、手段を選択して収集している。</p> <p>[2:課題解決の方法を考えている] ●課題解決に向けた自分の取組や状況を振り返り、日本の食文化のためにできることを積極的に考え、粘り強く取り組もうとしている。</p> <p>[3:協働して学んでいる] <③課題対応能力><②自己理解・自己管理能力> ○活動を通して調べたり考えたりしたことについて、相手意識や目的意識を明確にしながらまとめる方法が分かっている。</p> <p>○米は様々な人々の思いが繋がっていることや日本の食文化の現状への理解は、繰り返しのおにぎりづくりや、他教科と結び付けての探究的学びを重ねた成果であると気付いている。</p> <p>[4:学びを振り返り、次につなげている]</p> |
| 夏休み 各家庭でおにぎりづくり (繰り返し・扱えなかった具材など) | <ul style="list-style-type: none"> ○自分たちの活動の何を紹介したいかアイデアを出し合う。(2) ○出したアイデアを絞る。またはアイデアごとにグループを作り、探究する。(5) ○どんな人に食べてもらいたいかなど、相手意識をもっておにぎりづくりや稻わら作品の内容を再考する。(6) ○おにぎり屋さん(三田精米店・JAなど)はどのようなことを考えて作っているのか、相手意識をもって作っている人の話を聞く。(4) | | | | | | |
| 各教科での学習との結びつき 国語:目的に応じて引用する 家庭科:食材の扱い・料理の基本 算数:単位量あたりの計算 書写:招待状・案内表示 理科:植物の生長 外国語:日本文化の伝達 社会:国土の気候・稻作 図工:デザイン など | | | | | | | |
| 三学 期 | <h2 style="text-align: center;">「米の魅力を広め、1年間の成果となる米に関する活動を地域や保護者に披露する」(10)</h2> <ul style="list-style-type: none"> ・学習発表会で米の魅力を伝えたい！ ・米農家さんのすごさを伝えたい！ ・自分たちの成長を、関わった方に見てもらいたい！ ・日本の食文化について今の状況を多くの人に知ってもらいたい！ ・おにぎり紹介ブックを作りたい！ ・下級生におにぎり作りの楽しさ、日本の食文化のすてきなところを伝え、町のおにぎり屋さんを紹介したい！ ・感謝の思いを込めたイベントを開きたい！(学校、保護者、地域など) ・探究することが楽しかった！ ・悩んでも、考え続ければ答えが見つかる経験ができた！ ・誰かに喜んでもらうことが自分の喜びになった！ ・友達と協力して作れたことが一番の思い出になった！ | <ul style="list-style-type: none"> ○おにぎりや米の魅力をまとめる。(4) ○学習発表会等で米やおにぎり、日本の農業の魅力を紹介する。(2) ○1年間の成果となる活動を、地域の方や保護者に披露する。(2) ○今年度の成果と課題をまとめる。(2) | <ul style="list-style-type: none"> ・今までの活動の写真をもとに、自分たちにしかできない魅力発信を考えよう促す。 ・自分がおにぎりづくりや稻作に関わることで、初めて感じたことを基に、職人さんや農家さんにインタビューするなど情報収集できる環境を整える。 ・広めたい、伝えたいという子どもの思いは、他教科とのつながりで、より効果的に発信できるようにする。今までの探究活動での成長を実感できるよう促す。 ・今までの学習の軌跡について、児童が自分の成長を、実感をもって話すことができるようたくさん記録をとっておく。 ・おにぎり作りや稻作を通して学んだことを6年生につなげるためにキャリア・パスポートを活用する。 <p>[1:課題を見出し、把握している] [2:課題解決の方法を考えている] ○活動を通して調べたり考えたりしたことについて、相手意識や目的意識を明確にしながらまとめる方法が分かっている。</p> <p>●米や稻作の魅力を発信するために、友達の考えを生かしながら、協働して課題解決に向けて取り組もうとしている。</p> <p>[3:協働して学んでいる] ○伝える相手や目的に応じて考えをまとめ、おにぎりづくりや稻作の方法や米の魅力を適切な方法で表現している。</p> <p>○米に対して人々の思いがつながっていることや日本の食文化の現状への理解は、繰り返しのおにぎりづくりや、他教科と結び付けての探究的な学びを重ねた成果であると気付いている。</p> <p>[4:学びを振り返り、次につなげている] <④キャリアプランニング能力> <②自己理解・自己管理能力></p> | | | | |
| | <p>材（米）のもつ価値</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おにぎりづくりや水田開発を繰り返し行い、新たな課題を見付け、その課題に向き合いおいしさを追究することで、課題を解決する力を身に付けることができる。 ・料理に真剣に向き合うことで日常生活への学習の役立ち感を得ることができる。 ・自分の作ったおにぎりを食べてもらい、おいしいと言われることで達成感を得ることができる。 ・日本の基幹産業の大切さや米作りの難しさに気付くことで、米に対する愛着をもつことができる。 ・おにぎりの作り方や田んぼづくりなどを繰り返し考え、試すことで、強いこだわりをもつことができる。 ・地域のおにぎり屋さんの話を聞くことで、プロの技術を身に付けるための努力に憧れをもつことができる。 | <p>材（米）に寄せる子どもたちの思いや願い</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆おにぎり作りの練習を繰り返し行うことで、味や見た目を美味しいおにぎりに近づけたいと願っている。 ☆米や水の分量、握り方を工夫することで、おいしい・美しいと感じられるおにぎりを作りたいと願っている。 ☆昨年までの学習を生かし、桜新町商店街と関わっていくことで地域とより近付きたいと考えている。 ☆苗小屋をつくり、稻作をすることで、自分たちの力で米を一から生み出したいと願っている。 ☆他教科でも農業に関する学習をして、米について、いつも考えていたいと思っている。 ☆日本の食文化の一端に触れる実感を得られ、うれしいと思っている。 ★自分たちの力で米に関する活動を創りあげたいと願っている。 | <p>★…子どもたちの深層にあると予想される求め・思い・願い</p> | | | | |